



令和6年度昭島市立成隣小学校学校経営方針

【目指す学校像】

人も自分も大切に、みんなが輝く成隣小

自分の思いを表そう、伝えよう

児童どうしの関りを深め、地域とのかかわりを広げながら、自他を大切に作る児童を育成してまいります。

【基本理念】

- 1 児童が互いを認め合い協力し合う教育活動、児童一人一人の個性・特性の伸長を図る教育活動を充実させます。
- 2 生涯学び続けるための基礎を確実に身に付けさせる教育活動の条件整備を進めます。
- 3 「地域の学校」という公立学校のよさを生かします。
- 4 教職員は、自身の知識・技能の向上に努め、学校の実践力、「チーム成隣」としての組織力を向上させます。

教育目標	経営目標	◎中期的な目標・取組	○今年度の重点的な取組
○すすんで学ぶ子 ○心豊かな子 ○たくましい子	児童	◎主体的に学習に取り組む児童を育成する。 ◎心身を鍛え正しい判断で行動する児童を育成する。 ・児童による目標の設定と振り返りを重視し、基礎的な知識・技能を習得させる。 ・児童一人一人に注目し成長を支援する。 ・経験や体験を深める活動を重視する。	○児童の学習に対する目的意識を大切に、自身の学びを実感できる授業を実施する。(めあて・振り返り) ○「昭島市立小学校ユニバーサルデザイン」を活用した日常活動や授業における指導・支援を進める。 ○日常的な書く活動を通して思いを表す力を向上させる。 ○健康で安全な生活のために必要な生活習慣や食習慣を身に付けさせる。
	児童	◎互いを認め、協力し合う児童を育成する。 ・児童の言語環境を整え、人権感覚を高める。 ・互いを認め合い、物事を共に創造する体験的な活動を重視する。 ・互いに支え合う、よりよい関係を大切に活動する。	○児童の言語環境を整え、いじめ問題の未然防止と早期解消に全職員で取り組む。 ○道徳科の授業を要とし、特別活動や学校行事を通して児童の人間力を育成する。 ○生活指導と学習指導の関連を図りながら、自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土を醸成し、児童の自己指導能力を育成する。
	教職員	◎教職員がライフワークバランスを考えながら、知見を広げ、指導力を磨く。 ・心身の健康保ち、よき指導者、よき社会人として児童と接する。 ・児童にとって「分かる授業」「楽しい授業」を目指し指導力を向上する。 ・特別支援教育に関する知見を広げ、児童を肯定的多面的に理解し支援する。	○ワークライフバランスの視点から、優先順位を意識して職にあたる。 ○互いに声を掛け合い教職員による服務事故を未然に防ぐ。 ○研究・研修活動を一層活性化する。 ○ICT活用技能と授業での効果的活用を研鑽する。 ○OSC や心理士等の関係機関との連携を図る。
	教職員	◎教職員一人一人が持ち味を発揮し、協力しながら教育活動を展開する。 ・「報告」「連絡」「相談」を基本とした教職員間のコミュニケーションがとれた職場をつくる。 ・「子供のために」で協力し合える教職員のチーム力(同僚性)を高める。	○児童に関わる情報の共有に努め、教育活動の活性化、指導の充実に活用する。 ○学年・専科、支援員等のチームによる迅速・誠実・確かな問題解決を行う。 ○外部関係機関との連携に努め、児童理解と指導の充実に努める。
家庭・地域	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	○学校運営協議会を設立し、学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育て「地域とともにある学校づくり」を推進する。 ○学校公開及び保護者会等の立案・実施を丁寧に行う。 ○外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 ○幼稚園・保育所等と連携しスタートカリキュラムを充実させる。	